



三菱電機パッケージエアコン別売化粧パネル カンタン自動パネル(自動昇降)据付工事説明書

(PLP-P160HJ*)

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。この据付工事説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。

- 接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災などの原因になります。

改造は、絶対にしない。

- 修理は、お買上げの販売店にご相談ください。改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

- お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付工事に不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

台風などの強風・地震に備え、所定の据付工事を行う。

- 据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。

据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。

- 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

密閉された部屋、あるいは小部屋などに据え付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う。

- 限界濃度を超えない対策については、販売店にご相談ください。万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

作業中に冷媒が漏れた場合は、換気する。

- 冷媒が火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

据付けや移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因になり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

お客様ご自身で移動・再据付けはしない。

- 据付けに不備があると水漏れや感電・火災などの原因になります。お買上げの販売店又は専門業者にご相談ください。

別売部品やフィルターは、必ず当社指定の部品を使用する。

- 取付けは専門の業者に依頼してください。お客様ご自身で取付けをされ、不備があると、感電・火災・故障・水漏れなどの原因になります。

室内外ユニットの端子盤カバー(パネル)を確実に取り付ける。

- 端子盤カバー(パネル)取付けに不備があると、水・ほこりなどにより、感電・火災などの原因になります。

設置工事終了後、冷媒が漏れていないことを確認する。

- 冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及びこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。

- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因になります。

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据え付けない。

- 万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

据付けをする前に(環境)

次の場所への据付けは、避ける。

- ・ 可燃性ガスの漏れのおそれがあるところ
- ・ 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- ・ 機械油を使用するところ
- ・ 車両・船舶など移動するものへの設置
- ・ 高周波を発生する機械を使用するところ
- ・ 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- ・ 海浜地区など塩分の多いところ
- ・ 積雪の多いところ

- 性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする原因になります。

精密機器・食品・動植物・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

- 保存物の品質低下などの原因になります。



注意

濡れて困るものの上にユニットを据え付けない。

- 湿度が高い場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合があります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンがたれますので、必要に応じ室外ユニットの集中排水工事をしてください。

病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。

- インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音など弊害の原因になります。

据付(移設)工事をする前に



注意

据付台などが傷んだ状態で放置しない。

- 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガなどの原因になります。

製品の運搬は、十分注意して行う。

- 20kg以上の製品の運搬は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

梱包材の処理は、確実に行う。

- 梱包材には「クギ」などの金属、あるいは木片などを使用していますので放置状態にしますとさし傷などのケガをするおそれがあります。

8箇所全てのグリルサポートのフタを確実にロックし、必ずジョイント4箇所共が抜けないことを確認する。

- 製品の破損や動作不良、吸込グリルの落下による事故の原因になります。

エアコンを水洗いしない。

- 感電・発火などの原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように断熱処理すること。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床・その他家財などを濡らす原因になります。

冷媒配管の断熱は、結露しないように確実に行う。

- 不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどが発生し、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

吸込グリルを仮固定する場合は、吸込グリルの落下防止用ひもを確実に取り付ける。

- 吸込グリルの落下により事故の原因になります。

電気工事をする前に



注意

電源には、必ず漏電遮断器を取り付ける。

- 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

電気配線は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災などの原因になります。

電気配線は、張力が掛からないように配線工事をする。

- 断線したり、発熱・火災などの原因になります。

アース工事を行う。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

正しい容量のブレーカー(地絡・過負荷・短絡保護兼用の漏電遮断器)を使用する。

- 大きな容量のブレーカーを使用すると故障や火災などの原因になります。

元電源を切った後に電気工事をする。

- 感電・故障や動作不良の原因になります。

試運転をする前に



注意

パネルやガードをはずした状態で運転しない。

- 機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になります。

運転中の冷媒配管に素手で触れない。

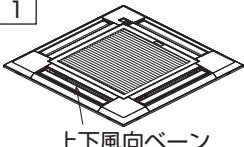
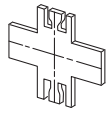
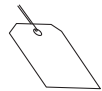
- 運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。


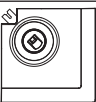
- 必ず5分以上待ってください。水濡れや故障の原因になります。

1. 部品の確認 (この箱の中には本据付工事説明書の他に下記部品が同梱されています。)

標準パネルの場合

品名	① 化粧パネル	② 据付用ゲージ	③ 荷札
個数	1	1	1
形状	 上下風向ベーン	 (4分割にして使用)	

ムーブアイセンサーパネルの場合

上記①～③の部品及び	④ ネジ	⑤ ムーブアイセンサーコーナーパネル
	1 4×16 	1 

※上下風向ベーンに、無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因になります。

※ムーブアイセンサーコーナーパネル⑤のレンズ部分に、無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因になります。

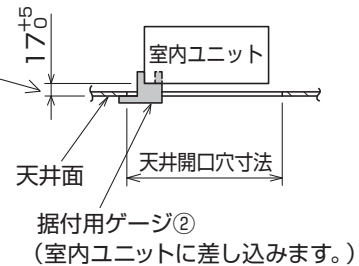
2. 化粧パネル取付け前の準備 (単位 mm)

室内ユニット位置の確認

- 天井開口穴が下記の範囲内か確認します。
860×860～910×910
- 付属の据付用ゲージ②を使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行う。天井面と室内ユニットの位置が合わないと風もれや露たれ及び上下風向ベーンの作動不良などの原因になります。
- 元電源 (漏電遮断器) を切ります。
※マルチエアコンの場合は室内ユニット・室外ユニット両方の元電源を切ってください。

※必ず17～22の範囲内とすること。

この範囲が守られない場合、故障などの原因になります。



お願い

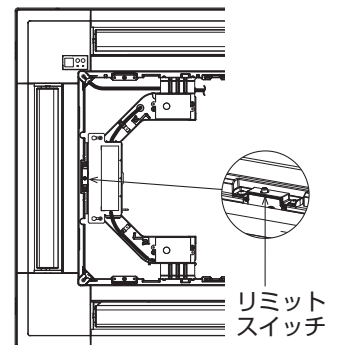
- お客様ご自身で塗装はしないでください。性能を著しく低下させたり、部品破損などの原因になります。塗装は、お買上げの販売店にご相談ください。

ワイヤードリモコンの設置位置

- ワイヤードリモコンにて吸込グリル昇降操作ができます。ワイヤードリモコンでの昇降操作にはリモコンが管理する全てのユニットのグリルを一括で昇降させる方法と、ユニットを指定して個別に昇降させる方法の2通りがあります。(操作方法の詳細は取扱説明書をご覧ください。)
- 一括で昇降操作する場合にはリモコン位置からユニットが見えないと下降するグリルに人や物が接触し損傷を与えるおそれがありますので、リモコンが管理する全てのユニットが見渡せる位置にリモコンを設置してください。

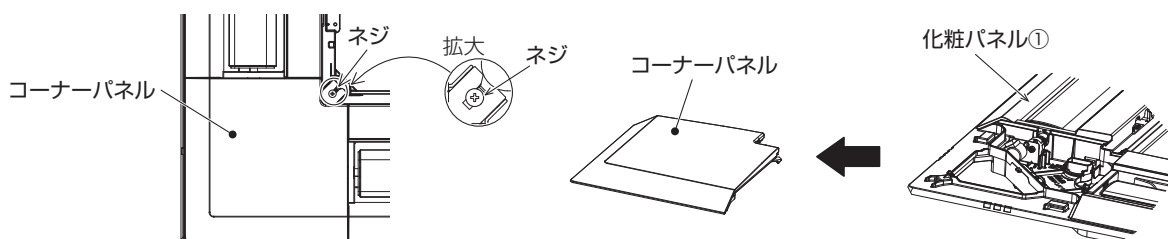
吸込グリルの取出し

- 吸込グリルを止めているテープをはがし、化粧パネルから取り出します。
※右図の位置に吸込グリル収納検知用のリミットスイッチがありますので、以降の作業時にリミットスイッチが破損しないよう十分注意してください。



コーナーパネルのとりはずし

- コーナー部のネジを緩め、コーナーパネルを矢印の方向へスライドし、コーナーパネルをとりはずします。



3. 吹出口の配置選択

この化粧パネルは、吹出方向を 11 パターン選択することができます。

(工場出荷時の設定 吹出口数：4 方向 / 天井高さ：標準)


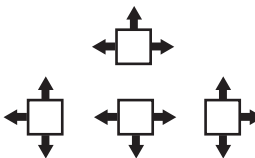
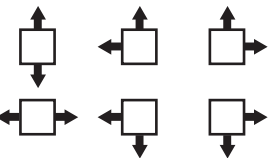
※各種別売部品を取り付けた場合の吹出口数及び天井高さの設定については、別売部品の据付工事説明書もあわせてご確認ください。

●吹出方向のパターンを選択します。1 方向吹出しはできません。

※吹出口数を変更する場合は、別売吹出口シャッタープレートを手配してください。

(吹出口シャッタープレートは、室内ユニットに取り付けますので、必ず化粧パネルを室内ユニットへ取り付ける前に作業してください。)

※高温・多湿環境での 2 方向選定は行わないでください。
露つき・露たれの原因になります。

	4方向	3方向	2方向
吹出方向のパターン	1パターン 工場出荷時の状態 	4パターン 室内ユニットの吹出口の1箇所をシャッタープレートでふさぐ 	6パターン 室内ユニットの吹出口の2箇所をシャッタープレートでふさぐ 

●吹出口数及び据え付ける天井高さに応じて設定を変更します。

※設定を変更しないと室内ユニットの異常が発生したり、お客様に不快感を与えるおそれがあります。

※高温・多湿環境での静音(低天井)設定は行わないでください。露つき・露たれの原因になります。

1) 組合せ室内ユニットがスリムエアコンの場合



リモコンからの設定となりますので、リモコンに付属してあります据付工事説明書の「機能選択」の項と室内ユニットに付属してあります据付工事説明書の「リモコンによる機能選択」の項を参照してください。

2) 組合せ室内ユニットがマルチエアコンの場合

室内ユニットの制御基板のスイッチを下表に従い設定してください。

<天井高さ及び吹出口数の対応>

室内ユニットの能力形名			22~90形						112~160形					
			低天井		標準		高天井		低天井		標準		高天井	
吹出口数	天井高さ		SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2	SW21-1	SW21-2
	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF
4方向	SW21-3	OFF	2.5m	2.7m	3.5m	2.7m	3.2m	4.5m						
	SW21-4	ON												
3方向	SW21-3	OFF	2.7m	3.0m	3.5m	3.0m	3.6m	4.5m						
	SW21-4	OFF												
2方向	SW21-3	ON	3.0m	3.3m	3.5m	3.3m	4.0m	4.5m						
	SW21-4	OFF												

※  印部以外はスイッチの設定が必要です。( 印部は、工場出荷時の状態です。)

4. 化粧パネルの取付け

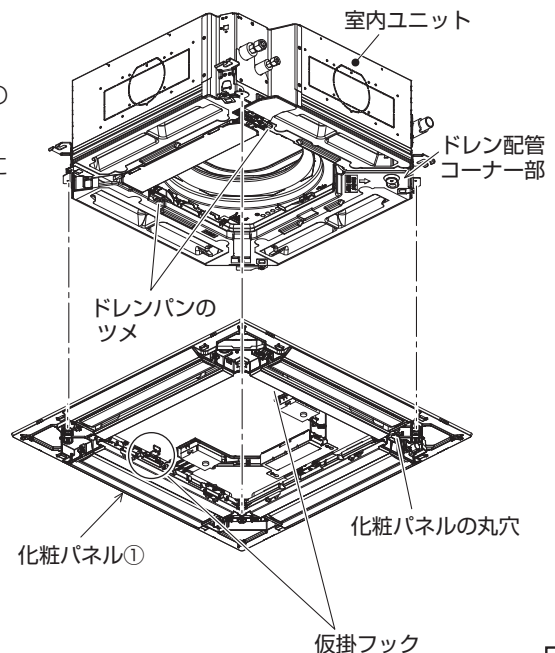
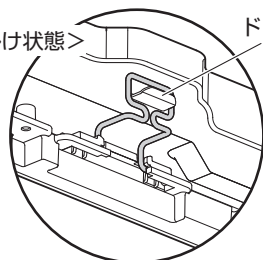
1) 化粧パネルの仮掛け

室内ユニットのドレン配管コーナー部と化粧パネルの丸穴があるコーナーの位置を合わせ、化粧パネルの仮掛フックを室内ユニットのドレンパンのツメに引っ掛け、化粧パネルを仮掛けします。

●この時、化粧パネルのリード線を室内ユニットと化粧パネルの間にはさまないようにしてください。

●仮掛け時には、化粧パネルに無理な力を加えないでください。事故や破損の原因になります。

<化粧パネル仮掛け状態>

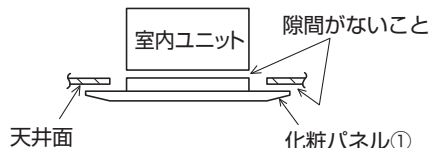


4. 化粧パネルの取付け のつづき

2) 化粧パネルの固定

化粧パネルの各コーナー部に組込みのネジを締め付けて、室内ユニットに化粧パネルを固定します。

- この時、室内ユニットと化粧パネル、及び化粧パネルと天井面との間に隙間がないようにしてください。



- 天井との隙間が生じた場合
化粧パネルを取り付けたまま、室内ユニットの据付高さを微調整し、天井との隙間を無くしてください。

3) 配線接続

ベーンモータ用配線接続

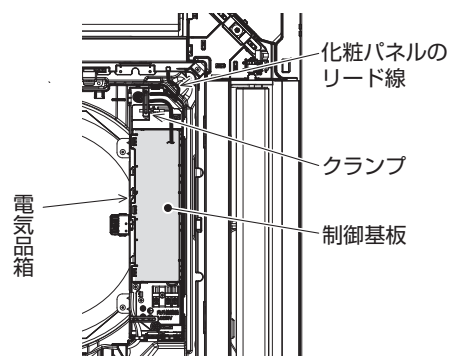
- (1) 室内ユニットの電気品箱の電気品カバーを固定しているネジ2本を緩め、電気品カバーをスライドさせて開きます。
- (2) 化粧パネルのベーンモータ用コネクタ(白色20極)1個を室内ユニット制御基板のCNVコネクタ(白色)に必ず接続します。

お 願 い

■ 制御基板のコネクタに対し垂直に接続してください。
また、リード線を引っ張らないでください。
動作不良や破損の原因になります。

- (3) 化粧パネルのリード線は電気品箱内のクランプを使用してたるみの無いように電気品箱内に収めてください。

※化粧パネルのリード線が昇降モーターボックスのワイヤーに接触しないように室内ユニットのクランプで固定します。



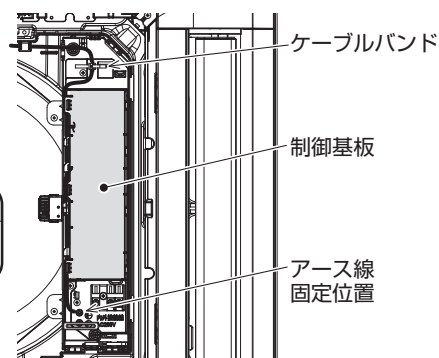
昇降キット用配線接続

- (4) 化粧パネルの昇降キット用リード線(青色4極)を室内ユニットの電気品箱側面よりとりまわします。
- (5) 本体制御基板のCN4G(青色)に必ず接続します。
- (6) 化粧パネルの昇降キット用アース線を本体電気品箱内に付属のネジにて固定します。

注意 アース工事を行う。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

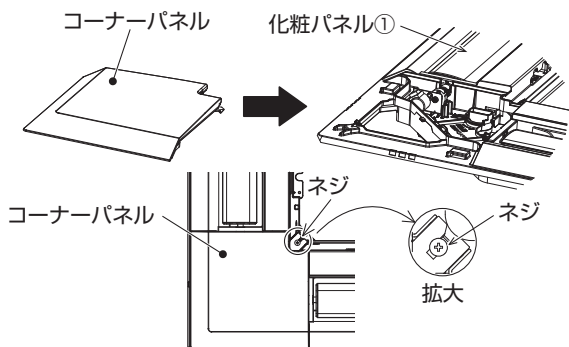
- (7) 化粧パネルの昇降キット用リード線は、電気品箱内のケーブルバンドに固定して、たるみの無いように電気品箱内に収めてください。



5. コーナーパネルの取付け

コーナーパネルの取付け

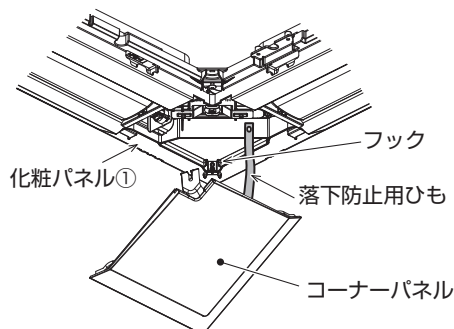
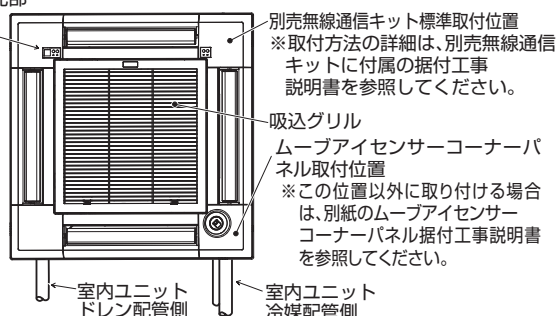
各コーナー部にコーナーパネルを矢印の方向へスライドし、取付ネジで固定します。



- 落下防止用ひもが付いているコーナーパネルは、ひもを確実に化粧パネルのフックに引っ掛けてください。

※確実に引っ掛けていないと、コーナーパネルが
運転中に落下するおそれがあります。

ワイヤレスリモコン受光部
コーナーパネル
取付位置
※この位置以外に
取り付ける場合は
別紙のワイヤレス
リモコン受光部
コーナーパネル据付
工事説明書を参照し
てください。



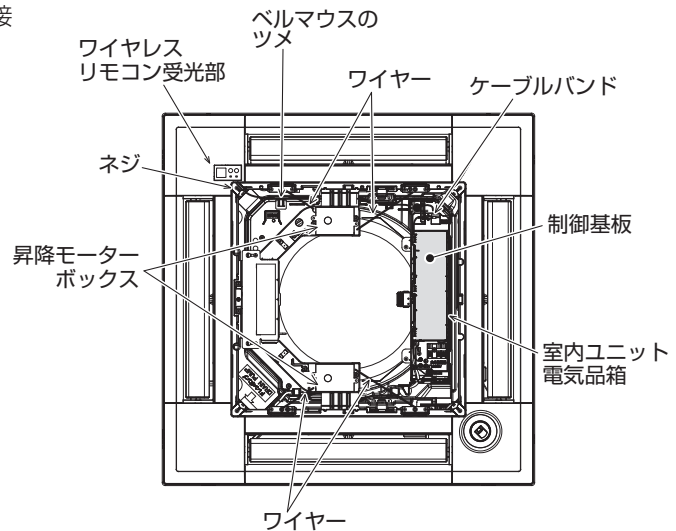
5. コーナーパネルの取付け のつづき

ワイヤレスリモコン受光部コーナーパネルの取付け(標準取付位置)

- (1) コーナーパネルのワイヤレス受光部用リード線（白色 9 極）を化粧パネルの角穴に通し、室内ユニットの電気品箱側面よりとりまわし、制御基板の CN90(白色)に必ず接続します。
- (2) コーナーパネルのワイヤレス受光部用リード線は、ベルマウスのツメ及び電気品箱内のケーブルバンドを使用して、昇降モーターボックスのワイヤーに接触しないように電気品箱内に収めてください。
- (3) 電気品カバーをスライドさせて閉じ、ネジ 2 本で固定します。
- (4) ワイヤレスリモコン受光部コーナーパネルを化粧パネルに取付ネジで固定します。

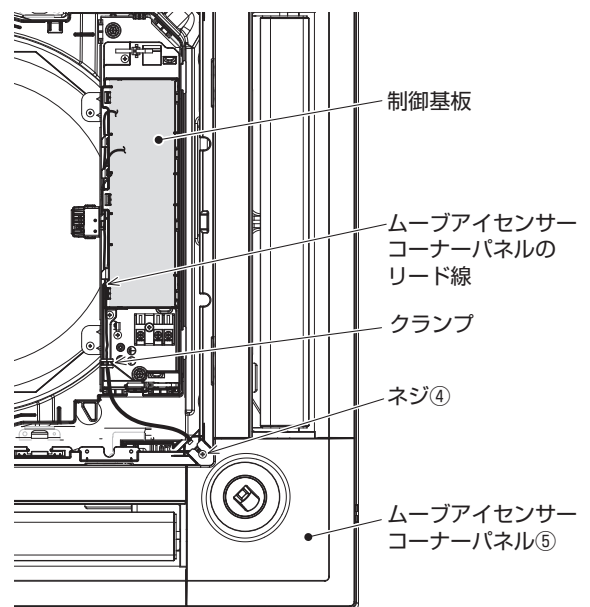
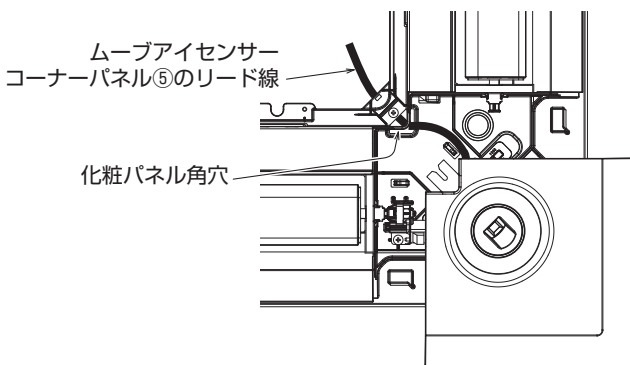
※室内ユニットの電気品カバーに昇降モーターボックスのワイヤーをはさまないようにしてください。はさむとワイヤーが切れるおそれがあります。

※ワイヤレスリモコン用受光部の位置は、室内ユニットのドレン配管側のみ取り付けできません。ドレン配管側に無理やり取り付けした場合は、ワイヤレスリモコン用受光部の故障の原因になります。



ムーブアイセンサーコーナーパネルの取付け(標準取付位置)

ムーブアイセンサーコーナーパネル⑤のリード線を化粧パネルの角穴に通します。



- (1) ムーブアイセンサーコーナーパネル⑤のリード線コネクタ（白色 4 極、白色 5 極）を室内ユニットの電気品箱側面よりとりまわし、制御基板のコネクタ CN4Z(白色)及び CN5Y(白色)に必ず接続します。
- (2) ムーブアイセンサーコーナーパネル⑤のリード線は、電気品箱内のクランプを使用してたるみの無いように電気品箱内に収めます。
- (3) 電気品カバーをスライドさせて閉じ、ネジ 2 本で固定します。
- (4) ムーブアイセンサーコーナーパネル⑤を化粧パネルに取り付け、ネジ ④で固定します。

※ムーブアイセンサーコーナーパネルの位置は、室内ユニットのドレン配管側のみ取り付けできません。ドレン配管側に無理やり取り付けした場合は、ムーブアイセンサーコーナーパネルの故障の原因になります。

6. 吸込グリル下降距離の設定

- この化粧パネルは、吸込グリルの下降距離を設置場所に合わせお客様の要望により、8段階に設定することができます。
※工場出荷時は、天井面より1.6mで自動停止します。距離は目安ですので、実際に下降させて確認してください。
- 下降距離の設定は、MAスマートリモコンと自動昇降基板からの設定に対して、後に設定された方が有効となります。そのため、MAスマートリモコンの表示又は自動昇降基板のディップスイッチと実際の下降距離が異なる場合があります。









1) MAスマートリモコンでの設定

- (1)メイン画面から、「メニュー」→「メンテナンス」→「清掃メニュー」にて **F1**、**F2** ボタンを押して「自動昇降パネル操作」を選択し、決定ボタンを押すと自動昇降設定メニュー画面を表示します。
- (2) **F1**、**F2** ボタンで「下降距離設定」を選択し、決定ボタンを押すと自動昇降下降距離設定画面を表示します。
- (3) **F2**、**F3** ボタンで設定したい室内ユニットの「冷媒アドレス」、「号機」を指定し、決定ボタンを押すと「下降距離設定」を表示します。
(「冷媒アドレス」、「号機」の選択は **F1** ボタンで行います。)
- (4) **F1** ボタンで「下降距離設定」を選択し、**F2**、**F3** ボタンにて下降距離を設定後、決定ボタンを押します。
※リモコンの下降距離設定値と実際の下降距離については表「下降距離設定」を参照ください。

2) 自動昇降基板での設定

- (1)ネジ2本を緩め、電気品カバーをスライドさせて開きます。
- (2)自動昇降基板のSW2のディップスイッチを下表の設定にします。
※設定を変更する際には、必ずディップスイッチの記号がSW2であることを確認してください。
- (3)化粧パネルの電気品カバーを(1)と逆手順で取り付けます。

表 下降距離設定

下降距離 (天井高さの目安)	リモコンでの 設定値	SW2 (下降距離設定)	下降距離 (天井高さの目安)	リモコンでの 設定値	SW2 (下降距離設定)
1.2m (~2.4m)	設定1	ON OFF  123456	1.6m (2.4m~2.8m)	設定2	工場出荷仕様 ON OFF  123456
2.0m (2.8m~3.2m)	設定3	ON OFF  123456	2.4m (3.2m~3.6m)	設定4	ON OFF  123456
2.8m (3.6m~4.0m)	設定5	ON OFF  123456	3.2m (4.0m~4.4m)	設定6	ON OFF  123456
3.6m (4.4m~4.8m)	設定7	ON OFF  123456	4.0m (4.8m~5.2m)	設定8	ON OFF  123456

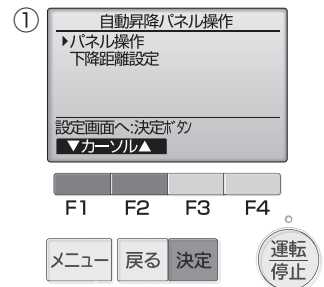
■がスイッチの位置を示します。

※気流到達距離は、室内ユニット・吹出口数設定・風量(天井高さ)設定により異なりますので、上表の天井目安高さまで気流が到達しない可能性があります。

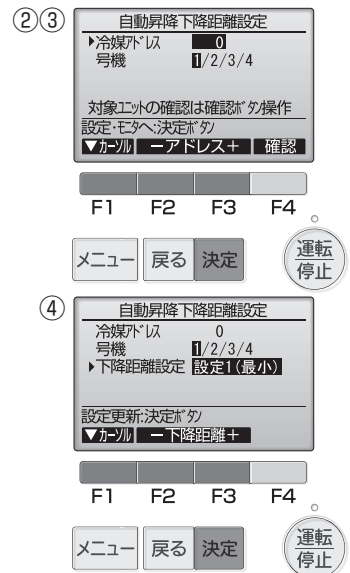
7. ワイヤレスリモコン(ユニット運転用)対応の場合

- ペアナンバー設定する場合は、ワイヤレスリモコンの据付工事説明書をご確認ください。

■自動昇降設定メニュー画面



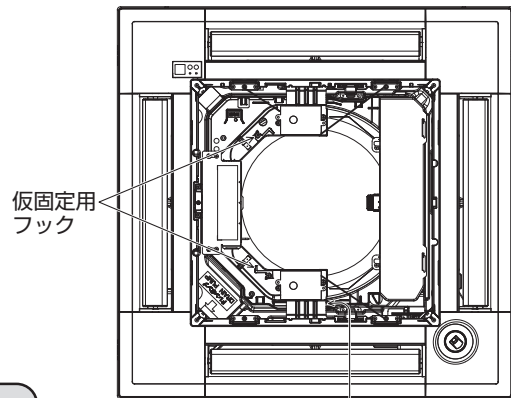
■自動昇降下降距離設定画面



8. 吸込グリルの取付け

1) 電源供給前の吸込グリル仮固定

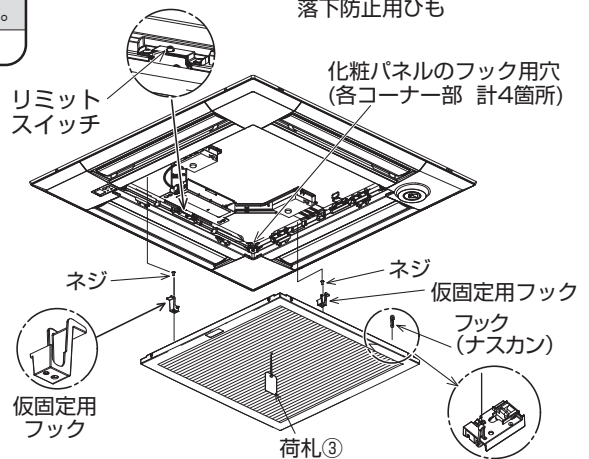
- (1) ワイヤー 4 本をからまないようにまとめてください。
- (2) 化粧パネルの右図の位置にネジ止めしてある仮固定用フックと落下防止用ひもをはずします。
- (3) 仮固定用フックを固定していたネジを流用し、吸込グリルの 2 箇所へ仮固定用フックを右下図のように取り付けます。
- (4) 落下防止用ひものフック(ナスカン)の一方をグリルサポートの穴に引っ掛け、一方を化粧パネルの穴に引っ掛けます。



注意

吸込グリルを仮固定する場合は、吸込グリルの落下防止用ひもを確実に取り付ける。
●吸込グリルの落下により事故の原因になります。

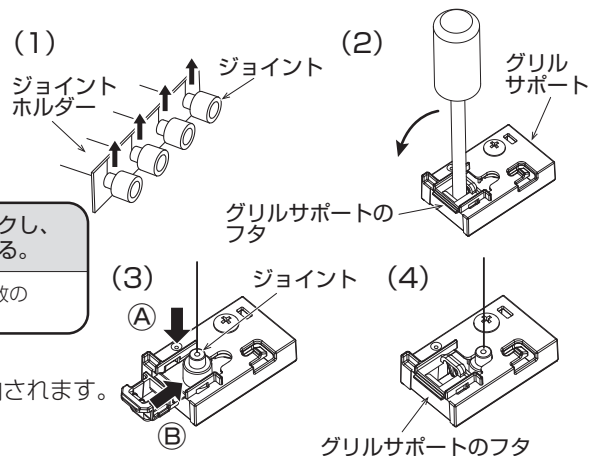
- (5) 吸込グリルを化粧パネルに平行にはめ込みます。
右図位置に仮固定用フックが掛かるように吸込グリルを取り付けてください。仮固定用フックがリミットスイッチに接触すると、リミットスイッチが破損するおそれがあります。
※その際、落下防止用ひもをはずさないようにしてください。
- (6) 吸込グリルの格子に付属の荷札③を取り付け、吸込グリルが仮固定中であることを知らせます。
- (7) 電源供給後は荷札③をはずし、(5)と逆手順で吸込グリルをはずし、仮固定用フックと落下防止用ひもを元の位置へ取り付けてください。(再利用する場合があります。)



2) 電源供給後

この化粧パネルは、複数台設置時の吸込グリルの格子の方向合わせや、お客様の要望により吸込グリルをどの向きでも取り付けることができます。

- (1) ジョイントをジョイントホルダーからはずしてください。
- (2) グリルサポートのフタにドライバーなど先の細いものを差し込み、フタを開けます。
- (3) グリルサポートにジョイントを通し(矢印A方向) ジョイントをスライド(矢印B方向)させて取り付けます。
- (4) グリルサポートのフタを閉め、ジョイントを固定します。



注意

8箇所全てのグリルサポートのフタを確実にロックし、必ずジョイント4箇所共が抜けなことを確認する。
●製品の破損や動作不良、吸込グリルの落下による事故の原因になります。

- (5) 昇降パネルリモコンの“上げる”ボタン、又は受光部コーナーパネルの(⊙)ボタンを押すと、吸込グリルが収納されます。

9. 確認

- 室内ユニットと化粧パネル、及び化粧パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
※隙間があると露つきや露たれの原因になります。
- 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されてないと上下風向ベーンが動かない、露つきや露たれ、吸込グリルが昇降しないなどの原因になります。
- ワイヤレスリモコン(ユニット運転用) 対応の場合、リモコンと室内ユニットのペアナンバーが合っていることを確認します。
- 吸込グリルの下降距離がお客様の要望に合っていること、また昇降動作がスムーズであることを確認します。
- 下降距離を変更した際は、必ず動作を確認してください。
- ムーブアイセンサーパネルカンタン自動パネルの場合、ムーブアイの回転動作を確認してください。
※ムーブアイが回転しない場合は、**5. コーナーパネルの取付け**の作業を再確認してください。
- 無線通信キットを使用する場合、室内ユニットの運転中に無線通信キットの運転ランプが点灯することを確認してください。
※運転ランプが点灯しない場合は無線通信キットに付属の据付工事説明書を参照して取付けの作業を再確認してください。

上記項目を確認した後、この据付工事説明書と室内ユニット及び別売部品の説明書などの一式全てをお客様へ渡してください。その際、化粧パネルの取扱説明書に記載されたフィルターの清掃及び吸込グリルの昇降方法(リモコン操作)について必ず説明してください。

お願い

- フィルターをはずしたまま運転をしないでください。
内部に油・ゴミが詰まり、故障の原因になります。
- 試運転以外での長時間の運転はおやめください。
建築中の現場などで長時間運転しますと、ほこりやにおいが付着する場合があります。